福岡市立歴史資料館

年報

NO. 7 (昭和53(1978)年度)

昭和54年(1979)刊

目　次

序 …… 1
Ⅰ　53年度の資料館の活動 …… 2
1　展　示 …… 2
(1)常設展示 …… 2
(2)企画展示 …… 2
(3)特設展示 …… 2
2　資料収集 …… 5
(1)購入資料 …… 5
(2)寄贈資料 …… 6
(3)借上資料 …… 7
(4)寄託資料 …… 7
(5)資料補強等 …… 7
(6)レプリカ作製 …… 7
(7)スライド作製 …… 8
3　普及活動 …… 8
(1)刊行物 …… 8
(2)資料の利用 …… 8
4　調査研究 …… 9
(1)特設展準備調査 …… 9
(2)常設展示改訂のための調査 …… 9
(3)歴史資料調査 …… 9
(4)玄界島調査 …… 9
Ⅱ　施設管理業務の概要 …… 10
1　施設の整備・補修 …… 10
2　施設管理業務の委託 …… 10
職員の調査・研修 …… 10
歴史資料館協議会 …… 11
入館者の動向 …… 12
図 書 …… 13
1 購入図書 …… 13
2 原本複写図書 …… 14
3 寄贈交換図書 …… 14
昭和53年度予算 …… 21
福岡市立歴史資料館条例 …… 22
福岡市立歴史資料館施行規則 …… 22
資料館平面図 …… 24

序

このたび，福岡市立歴史資料館より年報第７号を刊行することになりました。

開館７年目をむかえた当館の歩みも，種々の施設条件の不備な面を克服しながら利用者各位から望外な評価をいただくなどいささかの進歩があるように感ぜられる半面，常設展示が利用者になおいっそう理解し易く，親しみのもてるよう改訂すること，収蔵資料が即座に公開できるよう的確な分類基準によって整理をすることなどが今後の主要な課題と思われます。

市民各位をはじめ学識経験者および歴史資料館協議会その他関係機関各位におかれましては，今後とも倍旧の御指導と御協力をお願い申し上げます。

昭和54年６月１日

教育長　戸　田　成　一

福岡市立歴史資料館では，53年度の主要事業として，固有の歴史的環境と文化的価値をもつ郷土の原始古代の文物展「銅矛と銅鐸―弥生時代の祭器とその鋳型」，江戸時代の先学者の業績展「国学者青柳種信―筑前考古学のくさわけ―」や市民有識者各位のなかから30人の方々を調査委員に委嘱して５区24地域に及ぶ資料所在の実態を把握する「歴史資料保存整備基本調査」とその一環をなす「玄界島史資料調査」を企画実施して，所期の目的の一端を果たし得ましたことは御同慶のいたりに存じます。

年報７号は，53年度の広範な館業務の運営経過を記録したもので，歴史教養施設の重要な刊行物のひとつであり，この年次記録は，福岡市史の一連資料にも将来はなりましょう。

市民の研究施設である当館の歩みも，館員一同がいたずらなひとりよがりにおちいらぬよう，また，市民サービスがおろそかにならぬようおたがいに戒め合い，史資料の保存活用に深い見識をもつ奉仕者としての使命をいっそう自覚して自己の研鑽に励み，思索を重ねながら目的達成に向って一歩一歩近づくべく気力をふるい起こさねばと努めています。

これもひとえに，市民各位をはじめ研究者各位のあたたかいなかにも厳しい御援助，御指導によることが多く，常々感謝いたしておりますが，今後ともさらにいっそうの御鞭撻と御支援をお願い申し上げます。

昭和54年６月１日

館　長　石　橋　　博

I　53年度の資料館の活動

1　展　　示

(1)　常設展示

常設展示は，福岡平野の歴史的・地理的特徴と，弥生時代を中心とした原始・古代の生活・文化を示すものである。展示品は，福岡市と周辺で出土した考古資料が主で，これらを，(1)先土器・縄文時代，(2)弥生時代，(3)古墳時代，(4)太宰府と鴻臚館，(5)対外貿易（陶磁器），(6)郷土の先学の業績の6部門にわけて展示する。この展示方法は開館以来，変更なしにつづけているが，観覧者の期待と理解に応えるには，多くの問題が生じている。常設展示の全面的な改訂が必要であり，ここ数年のうちに，十分な研究と計画をねりあげて，常設展示を一新する予定である。今年度は若干の資料の入れかえを行ったにとどまる。

第1展示室

先土器時代，縄文時代，弥生時代を展示する。展示品は，福岡市諸岡遺跡・蒲田遺跡出土の石器（先土器時代），福岡市元岡瓜尾貝塚・飛櫛貝塚，県内各地および宮崎県・熊本県出土の土器・石器・骨角器（縄文時代）である。弥生時代は，鏡・剣・矛・戈・刀などの青銅器・鉄器と青銅器鋳型，労働・生活具（石庖丁・石斧・鉄製農具・錘・紡錘車・木製農具等）と，宝台遺跡模型，竪穴住居復元模型を展示する。

第2展示室

縄文式土器・弥生土器を編年順にならべる。

第3展示室

弥生時代の墓制を遺跡模型（金隈遺跡・宝満尾遺跡・宮の前遺跡）により展示し，社会の分化過程を示す。また志賀島出土の金印（レプリカ）と弥生時代装身具，石剣，石鏃および今山出土石斧未製品を展示する。

第4展示室

対外貿易（陶磁器）の部門。市内出土の平安時代をを中心とする中国製陶磁器を展示している。

第5展示室

スライド・スクリーン室。前年度までの5台のスクリーンを撤去し，4種のスライドを組み込めるスライド装置1台ととりかえる。地下鉄路線内遺跡，仙厓和尚，筑前刀，博多織の4種を紹介。

第6展示室

古墳時代，大宰府と鴻臚館，郷土の先学の3部門を展示。古墳時代は老司古墳，五島山古墳，丸隈山古墳，天神森古墳等出土の鏡・玉・銅鏃・装身具などの他に，市内各古墳出土の円筒埴輪・土師器・須恵器・祭祀用滑石製品・鉄製農具等を展示。また丸隈山古墳石室模型と片江古墳群6～8号墳の模型も展示する。

大宰府と鴻臚館は，奈良～平安時代の瓦・土器の他に緑釉陶器片，墨書須恵器片，大宰府出土木簡（レプリカ）を展示し，パネルにより大宰府の役割を説明する。また京ノ隈経塚1号主体部模型と出土品も展示している。

郷土の先学部門では，貝原益軒，亀井南冥，青柳種信，野村望東尼，中山平次郎の業績を紹介する。

(2)　企画展示

博多祇園山笠展

7月1日～15日，第6展示室。

博多山笠の行事にあわせて例年行っているもの。本館所蔵の「博多山笠屏風」〔紙本著色，初代三苫主清筆（1788年）と二代三苫英之筆（1848年）各六曲半双〕，山笠手拭，山笠たすき，参考文献を展示し，解説パンフレットを配布した。

(3)　特設展示

今年度は特設展示を2回実施した，ひとつは「銅矛と銅鐸―弥生時代の祭器とその鋳型―」（第3回特設展），ひとつは「国学者青柳種信―　筑前考古学のくさわけ―」（第4回特設展）である。

銅矛と銅鐸—弥生時代の祭器とその鋳型—

会期　7月20日～8月31日（月曜休館）

会場　第5・第6展示室

入場料　一般・大学生・高校生100円（団体80円）
小学生・中学生50円（団体30円）

図録　21.7cm×20.2cm　32ページ　1部300円で頒布，他にパンフレット（B5版4ページ）を配布。

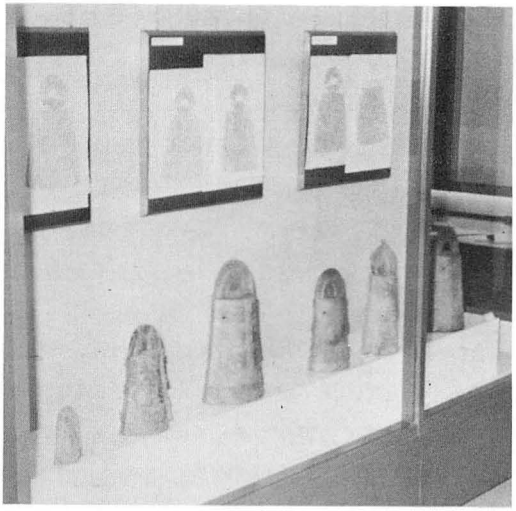
弥生時代は金属器がはじめて用いられた時代である。この時代の青銅器は，まず朝鮮や中国で作られたものがもたらされ，ついで弥生社会でもその製作が開始される。それとともに，青銅器は大形化し，非実用的なものとなる。これらは祭りの道具＝祭器と考えられる。北部九州を中心に分布する剣・矛・戈の武器形祭器と近畿地方を中心に分布する銅鐸がそれである，前者は石製鋳型で鋳造され，福岡市を中心とする北部九州地域から鋳型が数多く発見されている。後者の石製・土製鋳型は近畿地方で近年発見されはじめた。

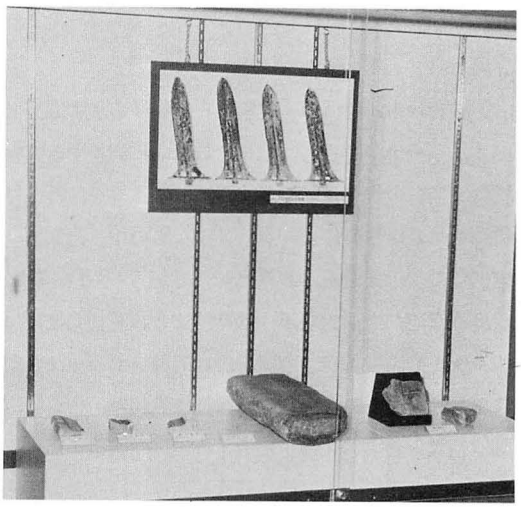
今回の特設展示は，これら祭器とみなされる青銅器と，その製作に用いた鋳型をとおして，当時の鋳造技術と祭器のあり方，さらには弥生社会の地域性，青銅製品の流通を考えることを主眼として開催した。

展示品

銅剣鋳型4点，銅矛鋳型7点（うちレプリカ2点），銅戈鋳型14点（うちレプリカ4点），銅鐸鋳型5点（レプリカ・写真パネル），銅釧鋳型2点，ガラス勾玉鋳型3点，種別不明鋳型6点（うちレプリカ1点），鋳型写真・拓本パネル3枚，武器型祭器（細形銅剣・矛・戈）36点，銅鐸13点（うちレプリカ4点），銅鐸拓本3点など，合計120点。

展示にあたっては京都国立博物館・九州大学・広島県教育委員会・福岡県教育委員会・宇佐市教育委員会・春日市教育委員会・大阪市立博物館・神戸市立考古館・田能資料館・辰馬考古館・九州歴史資料館・北九州市立歴史博物館・熊野神社・志賀海神社・住吉神社・妙楽寺・糸島高校・夜須中学校の機関，および個人所蔵者各位より資料を借用し，その他の機関・個人より援助を受けた。





入場者　大人・大学生・高校生 2,768名，小・中学生1,489名，招待券入場者182名，　合計4,439名，入場料収入347,510円，図録売上げ収入500冊 150,000円。

国学者青柳種信―筑前考古学のくさわけ―

会期　3月1日～3月20日（月曜休館）

会場　第5・第6展示室

入場料　一般・大学生・高校生100円（団体80円）
　　小学生・中学生50円（団体30円）

図録　B5版　20ページ　1部400円で頒布。他に
　　パンフレット（B5版2ページ）を配布。

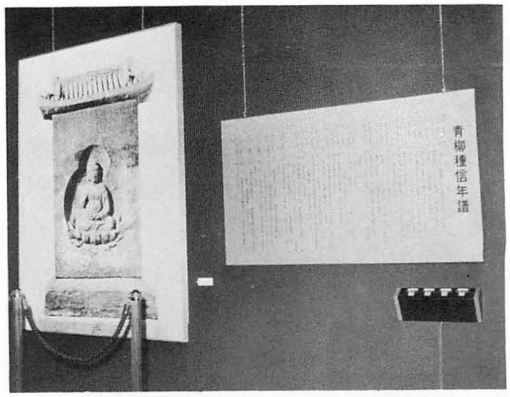
青柳種信（1766―1835）は，福岡藩に仕え，本居宣長の弟子として，国学研究にはげんだ。その学問は多岐にわたり，多くの著作を遺している。「沖ノ島防人日記」,「香椎廟宮記」,「宗像宮略記」,「後漢金印略考」,「柳園古器略考」などが著名である，また子息・弟子らによって死後に完成された「筑前国続風土記拾遺」は種信最大の編著である。種信関係資料の主要なものは空襲で焼失したが，種信縁故の山崎家に保存されていた資料は，近年当館の所蔵となった。この資料の中には，「後漢金印略考」の草稿や「柳園古器略考」のための遺物の図・拓本，「拾遺」編纂のため筑前国内を歩いた時に作ったとみられる古器物図面等，考古学古器物学関係の資料が含まれている。

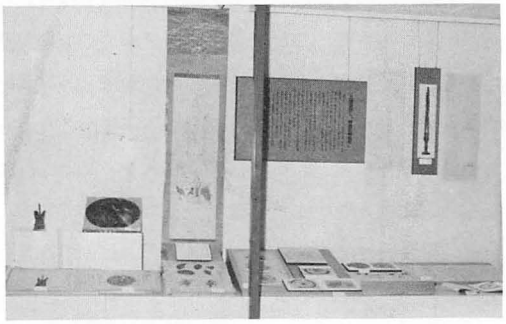
今回，これら古器物学・考古学関係資料を中心に，種信の学問を示す資料をあわせ展示し，郷土の先学青柳種信についての理解を深める目的で特設展を開催した。

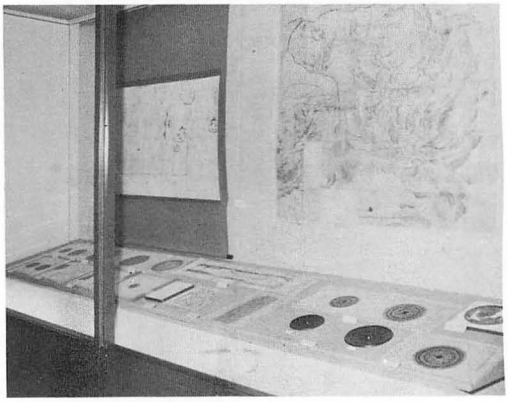
展示品

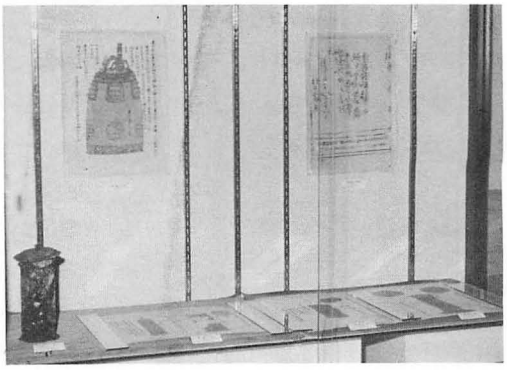
館蔵資料中，種信の考古学・古器物学を示す図面・拓本・草稿を中心とし，他に，これらに関連する実物資料と種信の学問領域を示す稿本・写本等を館外より借用した。総数47件 130点余。主なものは，肖像画，筑前国続風土記拾遺，瀛津島防人日記，日本書紀講説，香椎廟宮記，宗像宮略記，満盛院文書，種信あて本居宣長・伊能忠敬書簡，三雲村古器図説草稿，後漢金印略説，熊野神社銅矛鋳型図，宗像経石銘考，古器物図面（銅戈・石戈・梵鐘・経筒・和鏡・中国鏡・面・鰐口など），天蓋光心，銭弘俶八万四千塔，三雲遺跡出土品など。

展示にあたっては福岡県教育委員会，福岡県文化会館，九州歴史資料館，宗像大社，香椎宮，太宰府天満宮，観世音寺，誓願寺，丸隈山古墳保存会，妙正寺等の協力を得た。









入場者　大人・大学生・高校生940名，小・中学生216名，招待券利用者57人，合計1,213名，入場料収入103,640円，図録売上げ収入241冊96,400円。

2 資料収集

(1) 購入資料

今年度購入した資料は，文書2件12点，書跡2件2点，典籍7件45冊，書冊1件1点，絵画1件1点，考古資料1件1点，計14件である。以下に列挙する（*No.*は受入番号）。

B78-1 王丸文書

(1)怡土荘方王丸名の内，たて山の事　永仁2年8月10日　1通　（預所権別当法眼某下知状案）

(2)源著盛安堵状　王丸左京亮宛　年未詳10月3日　1通　包紙あり　（王丸名知行を安堵したもの）

(3)少貳頼為書状　王丸西宛　年未詳8月24日　1通

(4)杉興長書状　王丸兵庫允宛　享禄4年10月19日　1道　包紙あり

(5)島田源太郎通勝書状　王丸兵庫允宛　享禄4年11月21日　1通

(6)大神縫殿助元直打渡状　王丸市徳宛　天文3年9月10日　1通　包紙あり

(7)大内義隆袖判相続安堵状案　天文13年3月21日　1通　（王丸兵庫進の相続を認めた安堵状）

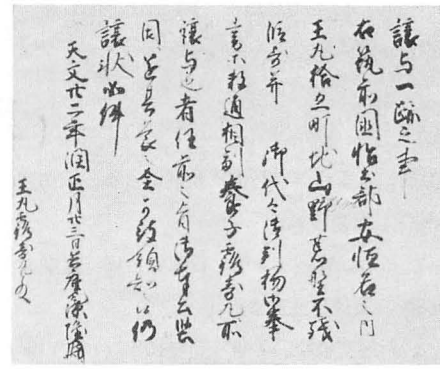
(8)大内義長奉行人連署状　王丸兵庫允宛　天文22年4月10日　1通

(9)林権七郎時成嘆願状　御小姓中宛　元和8年3月6日　1通

(10)藤左衛門書状　年未詳3月13日　1通

(11)王丸兵庫允隆譲状　王丸鶴寿丸宛　天文22年閏正月23日　1通（軸装）　包紙あり　（怡土郡安恒名の内，王丸拾五町地を養子王丸鶴寿丸に譲る譲状）

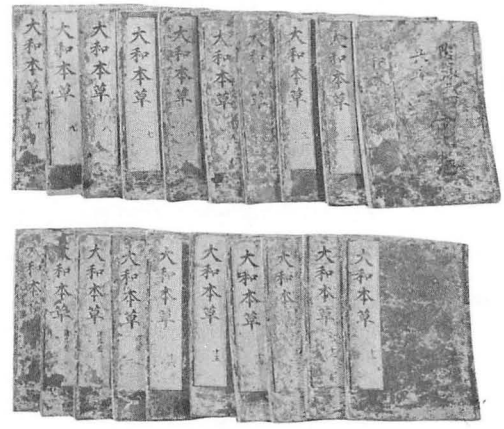
この王丸文書は，嘉穂郡碓井町坂口宣光氏に相伝伝来され，明治の頃，児王韞により採集整理された39通のうちのものである。



B78-1(11)

B78-2

B78-5



B78-6

B78-2 烽山日記　1冊

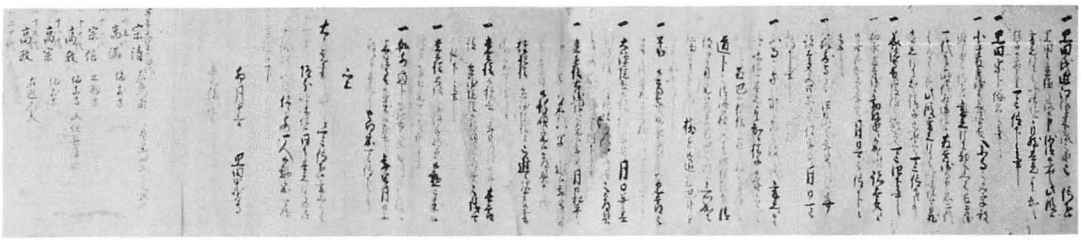
亀井昭陽著の写本　朱点付　文政3年

B78-3 蒙古襲来絵詞　3冊　風俗絵巻図画刊行会　1916年刊

B78-4 伏敵編，靖方溯源，竹崎季長蒙古襲来絵詞　2冊　山田安栄編　1892年刊

B78-5 女大学宝箱　1冊　宝永7年（1710）貝原益軒著　享和2年（1802）9月に江戸八丁堀の保坂栄蔵が刊行したもの。

B78-6 大和本草　20冊　貝原益軒著　宝永5年（17



B78-10

8)完成。宝永六年（1709）京都の書林，永田調兵衛が刊行した初版本。

B78-7 日本歳時記　4冊　貝原好古編　貞享5年（1688），浪速日進堂蔵版。

B78-8 新編漢事始　4冊　元禄10年（1697）平安城書林刊。

B78-9 九州鉄道旅客便覧　1冊　岡部啓五郎著　1893年発行　九州貫通五市街地図付。

B78-10 黒田家家系申立書　1巻

黒田家の重要なことがらを覚書風に整理し，系図を整えるためのひかえ。江戸初期のものらしい。

B78-11 野村もと（望東尼）書簡　軸装1幅

安政5年（1858年）または6年6月29日に記したものらしい。当時大阪滞在中の大隈言道と，もとの仲介をしている歌人からの手紙受取のお礼と老人（主人）の近況をつげる内容。

B78-12 亀井少桀画（自画賛「白菊」）　軸装1幅

菊の絵に書を添えたもの。「秋菊傲霜可以浮酒君子飲之万年其寿」「少桀併題」とある。

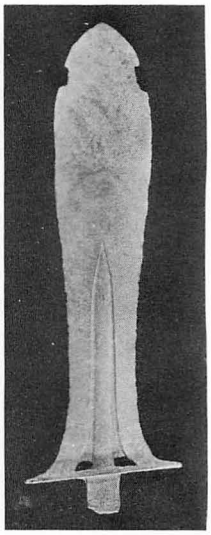
B78-13 人面付銅戈　1口

福岡県内出土という。鋒部一部欠失。茎の片面に人面を陽鋳。関部に1カ所鋳かけあり。人面付銅戈としては，福岡市西区白塔出土品（本館蔵）についで2番目の例。両者の人面は酷似。全長40.9cm。

B78-14 農業全書　11冊　宮崎安貞著　享保版

B78-11

B78-12



B78-13

(2) 寄贈資料

今年度は下記資料の寄贈を受けた。

P78-1 博多古説風俗絵屏風　6曲半双

故朽網勇成上人寄贈

各面下部に松ばやし，どんたく，山笠，にわかの絵をえがき（上田昇邦画），その上に由来の説明を記す（五世白遊季月）。

P78-2 山笠写真　1枚　松浦敬子氏寄贈

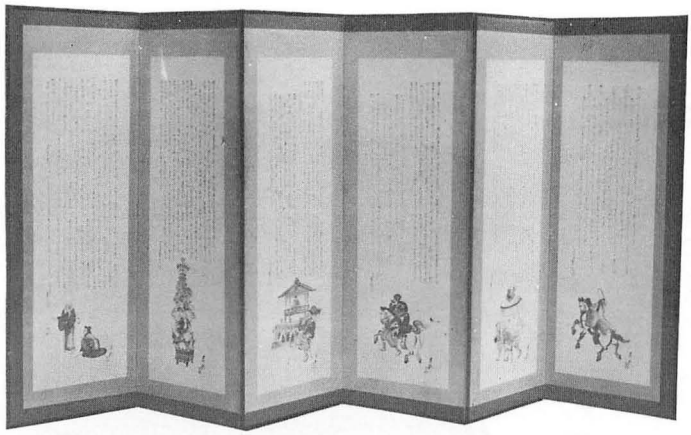
中石堂町一番山笠の写真

P78-3 青柳種信資料　山崎八重子氏寄贈

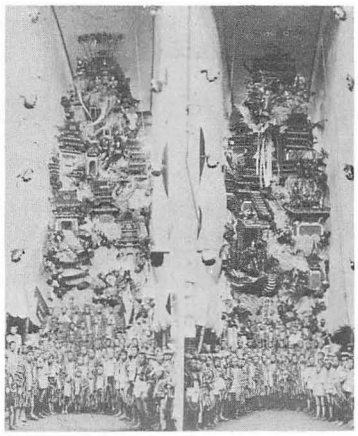
短冊211枚，本居宣長逝去にともなう祭文1葉，漢詩1葉

P78-4 長野種正資料　長野美種氏寄贈。

院政仁御製和韻　1冊，和歌雑集1冊。長野種正は青柳種信の長子。



P78-1



P78-2

P78-3

P78-4

(3) 借上資料

有償で借用している資料。14件（369点）の すべてが考古資料である。主なものは下記のとおり。

中広銅矛10口，海獣葡萄鏡１面，五島山古墳出土鏡２面・銅鏃８点・玉７点等，石戈１口，経筒１本，瓦５点，滑石模造品34点，縄文土器片多数，縄文時代石器数十点など。

(4) 寄託資料

寄託を受けた資料で，考古資料を主に，10件37点である。なお文化課保管の発掘調査出土品中から借用している資料も寄託扱いにしているが，その量はきわめて多い。

(5) 資料補強等

青柳種信資料のうち，特設展「国学者青柳種信―筑前考古学のくさわけ―」に展示するために，考古学・古器物学関係資料の裏打ちを行う。

古器物図面92枚，考古学関係図・文書13枚，古地図９枚など。

(6) レプリカ作製

R78-1 木製鍬（福岡市西区四箇遺跡出土）１ 古墳時代

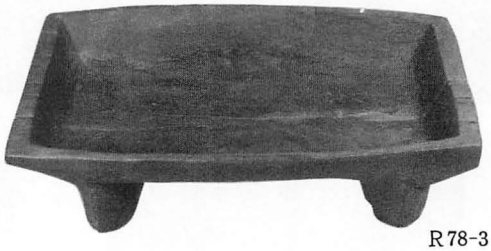
R78-2 木製杵（福岡市西区四箇遺跡出土）１ 弥生時代

上R78-4，下R78-2

R78-3　木製四脚付容器（福岡市博多区三筑中学校建設予定地内遺跡）1　古墳時代

R78-4　木製鋤（福岡市博多区板付遺跡出土）1　弥生時代

R78-1



R78-3

(7)　スライド製作

第5展示室スライドスクリーン装置用として下記のスライドを作製した。

地下鉄路線内の遺跡調査(2)　24コマ，6分43秒

3　普　及　活　動

(1)　刊行物

1　歴史資料館年報№6（昭和52年度）　B5版26ページ。6月20日発行。関係者・関係機関に配布。

2　野村望東尼遺品図録　B5版74ページ。12月15日発行（資料館図録第4集）。関係者・関係機関に配布。

昭和52年3月31日に，野村家に保存されてきた野村望東尼関係資料が本館の所蔵資料となった。本書はこれら資料の目録（21ページ）・資料写真（48ページ）・野村氏系図・望東尼の学統・望東尼年譜よりなる。

3　玄界島史資料調査概報　B5版44ページ。3月24日発行。関係者・関係機関に配布。〔4調査研究の項参照（後述）〕。

4　福岡市立歴史資料館研究報告　第3集　B5版72ページ。3月31日発行。関係者・関係機関に配布。

<収録論文>

筑紫　豊　福岡藩の国学者青柳種信の研究(三)―瀛津島防人日記―

三島　格　館蔵本「豊前・筑前其他出土考古品図譜」解題

5　特設展図録　銅矛と銅鐸―弥生時代の祭器とその鋳型―（資料館図録第3集）

第3回特設展（前述）で有償頒布。

6　特設展図録　国学者青柳種信―筑前考古学のくさわけ―（資料館図録第5集）

第4回特設展（前述）で有償頒布。

7　パンフレット

入館者に無償で配布する展示概説。常設展パンフレット（日本語と英・中文）の他に，今年は企画展示山笠展（前述），2回の特設展示に際しそれぞれ展示概説のパンフレットを配布した。

(2)　資料の利用

研究者・学生・出版社等による館蔵資料，館建物（重要文化財）の諸調査・写真撮影・印刷物掲載等の申請は34件あった。内容は，研究者8件，学生の卒論・研究5件，学校教材3件，他の博物館など2件，県・市の機関2件，出版社10件，放送3件，新聞報道1件である。

4 調 査 研 究

(1) 特設展準備調査

第3回特設展「銅矛と銅鐸」（前述）準備のための諸調査・研究。4～6月に実施。担当者後藤。

第4回特設展「国学者青柳種信」（前述）準備のための諸調査・研究。担当者筑紫（嘱託）・斎藤（嘱託）

(2) 常設展示改訂のための調査

開館以来一部資料の入れかえにとどまっている常設展示の全面的改訂のための調査をはじめる。資料館関係者の意見聴取，他館の展示の見学等を機会あるごとに行う。この中で改訂の方向づけを行い，2～3年以内に常設展示の全面改訂を行う予定。担当者後藤。

(3) 歴史資料調査

前年度より，市内に存在する歴史・民俗・美術・考古資料の調査を行っている。その第2年度である。前年度にひきつづき，所在調査を実施し，資料の所在をカードに記入した。今年度をもって所在調査を終了しこれにもとづき53・54年度に専門調査を行う予定。

今年度の所在調査は，市域を24ブロックにわけ，下記の調査委員に委嘱した。

東区＝日下部圀男，末信源蔵，大峰金五郎，矢野静戸，葦津国彦，浜田昌治

博多区＝波多江五兵衛，石橋源一郎，平田治吉，八尋勇

中央区＝波多野聖雄，帯谷瑛之介，橋本新八郎

南区＝大庭暢一，小手川高造，渡辺文吉

西区＝坂牧周祐，坂口守，鶴田忠，土斐崎種美，牛尾準一，石津司，姫野典山，高田茂広，木下茂，上嶋仁洲

全般＝広渡正利，曽根田諭，安川巌，中原志外顕

調査結果は別表のとおり。

(1) 地区別（ ）内は52年度

区	東	博多	中央	南	西	全般	市外	計
件数	24 (33)	34 (14)	12 (36)	19 (51)	122 (242)	40	(10)	251 (386)
点数	244 (約300)	105 (256)	37 (約110)	41 (約370)	2,561 (2,663以上)	2,143	(約330)	5,131 (約4,110)
両年度合計	57件 544点	48 361	48 147	70 411	364 5,224	40 2,143	10 330	637 9,241

(2) 種類別（ ）内は52年度

種類	書跡文書	美術	民俗	考古	計
件数	75 (141)	60 (123)	82 (82)	34 (40)	251 (386)
点数	3,596 (約1,320)	209 (約820)	651 (約670)	675 (約1,300以上)	5,131 (約4,110)
両年度合計	216件 4,916点	183 1,029	164 1,321	75 1,975	637 9,241

(4) 玄界島調査

上記歴史資料調査の一環として，調査対象地域に入れていなかった玄界島の調査を実施した。

実施期日　11月15日・16日

調査員

高田茂広（北崎小学校西浦分校教諭）書跡文書

柳沢一男（文化課技術職員）考古資料

八尾敏則（歴史資料館職員）刀剣

斎藤　豊（歴史資料館嘱託）書跡・文書

筑紫　豊（文化部嘱託）民俗

調査の概略　第1日は，公民館2階大広間に展示されていた資料の調査を行う。資料の撮影および島民への資料解説もあわせて行った。重要な文書は借用する。第2日は，公民館長宅に資料が集められ，その調査を行う。その後伊藤健蔵氏宅の資料と，公民館にもち込まれた資料の調査を実施した。

調査した資料は170～180点である。島の歴史を知る上での書跡・文書・縁起，祖先が旅先でもとめた民具・漁具・農具，海中よりひきあげた陶器等多様な資料であった。

調査結果については「玄界島史資料調査概報」に報告した。

Ⅱ　施設管理業務の概要

1　施設の整備・補修

⑴工事

1)雨・排水溜枡および排水路設置　2)電話内線増設

⑵修理

1)ペンキ塗替（外柵・クーリングタワー・門扉等）2)収蔵庫空調設備加湿器配管付替およびクーラーファン洗浄　3)非常用放送器バッテリー取替　4)複写器修理　5)トイレボールタップ取替　6)煙感知器取替　7)タイプライター修理　8)門扉箱錠取替　9)標示板欠落部補修

2　施設管理業務の委託

⑴清掃・警備等業務

受付，館内外の巡視・警備（昼・夜），施設の清掃，施設の空調・冷暖房機器の操作・点検・保守

業者名　（株）シンコー

⑵重量物運搬（移動）業務

第1・第3展示室窓ガラス清掃のための大型陳列ケース移動　　業者名　日本通運福岡支店

⑶設備機器等の保守点検業務

自家用電気工作物＝（財）九州電気保安協会福岡支部，電話交換設備＝富士通興業（株）九州通信営業所，自動火災報知設備非常用放送設備＝日本信号（株）九州営業所，盗難火災非常通報設備＝（財）電気通信共済会福岡営業所，収蔵庫空調設備＝（株）菱熱，展示室等空調設備＝山武計装（株）福岡営業所，暖房設備＝（株）巴商会福岡営業所，冷房設備＝九州日立冷機（株）

⑷鳩害防除業務　イカリ消毒（株）福岡営業所

⑸地下室くん蒸消毒業務　イカリ消毒（株）

職員の調査研究

内容	期間	用務先	出張者
特設展示資料撮影	5.25	夜須町・久留米市	後藤
特設展示資料撮影	6. 1	春日市・前原町	〃
北九州市立歴史博物館開館三周年記念特別展開会式	7.25	北九州市	石橋
北九州市立九州民芸資料館北九州市制十五周年記念「韓国の伝統工芸展」開会式	8. 1	北九州市	石橋
太宰府発掘十周年記念展開会式	10.15	太宰府町	石橋
「古唐津展」展観視察	11. 5	佐賀県立博物館	石橋
歴史資料調査事前協議	11.10	玄界島	石橋
玄界島歴史資料調査	11.15～16	玄界島	八尾 斎藤
第26回全国博物館大会	11.20～22	東京都	阿部
学芸員資格取得講習	11.30～12.22	国立社会教育研修所	後藤
施設の管理運営状況調査	2.23～ 2.25	橿原市千塚資料館 京都平安博物館	八尾
54年度特設展示資料調査	3.12～ 3.16	大阪府文化財センターその他	後藤
施設の管理運営状況調査	3.24～ 3.28	名古屋，大阪，岡山 博物館，資料館	阿部

この他に特設展・常設展の展示資料借用交渉・資料運搬・返却のための出張。

歴史資料館協議会

委員名簿

(1) 54年2月4日までの委員（五十音順）

氏名	役職名
井上　忠	福岡大学人文学部教授
岡崎　敬	九州大学文学部教授
◎鏡山　猛	九州歴史資料館館長
要　照夫	福岡県高等学校歴史部会会長（県立福岡中央高等学校教諭）53.6.25退任
川添昭二	九州大学文学部教授
谷口鉄雄	北九州市立美術館顧問
田村圓澄	九州大学文学部教授
○筑紫　豊	福岡県文化財保護審議会委員
秀村選三	九州大学経済学部教授 53.4.22新任
平島貴義	福岡県高等学校歴史部会会長（県立筑紫丘高等学校教諭）53.7.10新任
平田　寛	九州大学文学部教授
平林　豊	福岡市立中学校社会科研究会歴史部長（香椎第二中学校教頭）
藤井　功	福岡県教育庁文化課長
○三宅安太郎	福岡県文化財専門部会委員
森　貞次郎	九州産業大学教養部教授
安河内和好	福岡市立小学校社会科研究会代表（東住吉小学校校長）
八尋和泉	九州歴史資料館学芸一課技術主査

(2) 54年2月5日～56年2月4日の委員

区分	氏名	役職名
学校教育及び社会教育関係者	平島　貴義	福岡県高等学校歴史部会会長（県立筑紫丘高等学校教諭）
	平林　豊	福岡市中学校社会科研究会歴史部長（福岡市立警固中学校教頭）
	○安河内和好	福岡市小学校社会科研究会代表（福岡市立東住吉小学校校長）
	江頭　光	福岡市社会教育委員（西日本新聞社都市圏部編集委員）
	○鏡山　猛	九州歴史資料館館長
	矢野　静戸	福岡市名島公民館館長
学識経験者	石橋源一郎	博多を語る会，博多町人文化連盟会員（セキソ株式会社取締役会長）
	井上　忠	福岡大学人文学部教授
	岡崎　敬	九州大学文学部教授
	川添　昭二	九州大学文学部教授
	武野　要子	福岡大学商学部教授
	田村　圓澄	九州大学文学部教授
	◎筑紫　豊	福岡県・市文化財保護審議会委員
	秀村　選三	九州大学経済学部教授
	広渡　正利	福岡県地方史研究連絡協議会副会長（佐藤ビジネス専門学校総務部長）
	森　貞次郎	九州産業大学教養部教授

◎　委員長　　○　副委員長

開催状況

第1回　53年5月19日

53年度実施事業計画について

1)歴史資料基本調査計画案

2)博多祇園山笠展開催計画案

3)特設展「銅矛と銅鐸」開催計画案

第2回　53年9月22日

1)53年度上半期実施事業の概略報告

2)第26回全国博物館大会出席者の推せんについて

3)53年度下半期事業実施計画

4)54年度主要事業計画案

第3回　54年1月26日

1)第26回全国博物館大会参加報告

2)野村望東尼遺品図録刊行報告

3)特設展「国学者青柳種信」準備状況

4)実物資料の購入について

5)53年度歴史資料調査の経過について

第4回　54年3月23日

1)新任委員の紹介と正副委員長の選出

2)53年度実施事業の報告

3)54年度事業実施計画・予算の概要

入館者の動向

表1　入館者の内訳

月（開館日数）	個人入館者 一般 男	個人入館者 一般 女	個人入館者 学生 小	個人入館者 学生 中	個人入館者 学生 高	個人入館者 学生 大	個人入館者 小計	団体入館者 一般	団体入館者 小	団体入館者 中	団体入館者 高	団体入館者 大	団体入館者 小計	合計
4月（26日）	516	253	153	80	58	102	1,162	7	22	29	—	—	58	1,220
5月（26日）	607	298	125	126	49	86	1,291	174	182	—	—	47	403	1,694
6月（26日）	391	145	181	76	29	62	884	61	441	18	58	23	601	1,485
7月（23日）	329	163	150	73	48	61	824	98	33	16	—	—	147	971
	823		390				1,213	18	110				128	1,341
8月（27日）	2,075		964				3,039	34	25				59	3,098
9月（24日）	321	166	97	41	27	151	803	19	—	—	—	—	19	822
10月（25日）	521	235	143	40	34	97	1,070	141	551	3	—	9	704	1,774
11月（26日）	513	216	128	33	31	95	1,016	182	184	31	—	—	397	1,413
12月（23日）	264	142	128	83	16	50	683	85	26	—	—	173	284	967
1月（24日）	388	200	165	153	30	122	1,058	—	—	—	—	41	41	1,099
2月（22日）	428	310	400	66	47	141	1,392	8	200	—	—	16	224	1,616
3月（25日）	143	103	112	56	31	102	547	7	—	7	131	—	145	692
	984		171				1,155	13	45				58	1,213
合計（297日）	4,421	2,231	1,782	827	400	1,069	10,730	782	1,639	104	189	309	3,023	13,753
	3,882		1,525				5,407	65	180				245	5,652
総計	10,534		5,603				16,137	3,268					3,268	19,405

7月・3月合計欄の下段と8月欄は特別展入館者，高・大生は一般に含む。開館以来の累計144,421名

表2 入館者の内訳　（7・8・3月の特別展入館者は除く）

月	年令別入館者数 ～15	16～30	31～50	51～64	65～	職業別入館者数 農林漁業	製造建設鉱業	卸小売サービス公務員	無職	住所区分 市内	県内	県外
4	304	406	363	107	40	—	—	596	179	654	195	371
5	395	472	436	160	91	2	5	719	239	961	299	434
6	267	281	227	80	30	2	6	368	94	503	152	181
7	232	241	225	94	32	5	1	351	130	516	135	173
9	116	325	210	75	23	1	12	378	115	469	148	205
10	738	378	444	168	46	2	—	664	135	604	731	439
11	376	351	468	166	52	6	3	718	184	923	169	321
12	241	360	206	124	36	2	1	315	173	611	157	173

1		322	320	342	84	31	3	1	458	167	658	233	208
2		673	414	413	81	35	3	6	509	220	1,182	150	284
3		185	316	143	33	15	3	—	169	81	257	69	366
合計	実数	3,849	3,864	3,477	1,172	431	29	35	5,245	1,717	7,338	2,438	3,155
	割合	30.1	30.2	27.2	9.2	3.4	0.4	0.5	74.7	24.4	56.7	18.9	24.4
		100%					100%				100%		

図　　書

1　購　入　図　書

古事類苑（吉川弘文館）9冊〔封禄部，政治部一・二・三・四，法律部一・二・三，外交部〕

石田茂作　仏教考古学論攷（思文閣出版）〔寺院編〕

末松保和博士古稀記念会　古代東アジア史論集（吉川弘文館）　2冊〔上・下巻〕

祖父江孝男　文化人類学事典（ぎょうせい）

伊東俊太郎等　講座比較文化（研究社）全8巻

藤木邦彦等　体系日本史叢書（山川出版社）19冊〔1・2・3・5・6・7・8・9・11・12・13・14・16・17・18・19・20・23・24巻〕

ものと人間の文化史（法政大学出版局）11冊〔5番匠　7塩　8はきもの　9城　13機械　17釣針　19農具　21蓮　24湿原祭祀　25臼　27香料〕

杉山宏　日本古代海運史の研究（法政大学出版局）

羽原又吉　日本古代漁業経済史（ジャパンパブリッシャーズ）

新民俗文化叢書（ジャパンパブリッシャーズ）4冊〔1古代史と民俗学　2南島の古歌謡　4日本の村落共同体　5対馬古跡探訪〕

奈良国立博物館　経塚遺宝（東京美術）

亀井南冥・昭陽全集（葦書房）3冊〔1・3・4巻〕

浅香年木　日本古代手工業史の研究（法政大学出版局）

日本原始美術大系（講談社）2冊〔2・5巻〕

東洋陶磁大観11　ボストン美術館（講談社）

日本農書全集（社団法人農山漁村文化協会）4冊〔5農事遺書・耕作早指南種稽歌・農業蒙訓・農隙所作　村々寄帳　8家業伝　9家業考・農作自得集・神門　出雲楯縫郡反新田出情仕様書　13農業全書巻6～巻11〕

日本史用語大辞典　全2巻（柏書房）

中村孝三郎　越後の石器（学生社）

斎藤忠　日本考古学史　日本歴史叢書(34)（吉川弘文館）

高裕燮　朝鮮塔婆の研究（吉川弘文館）

石井則孝等　シンポジウム縄文貝塚の謎（新人物往来社）

児玉幸多等　地方史マニュアル（柏書房）全10巻

人類学講座編纂委員会編　人類学講座6（雄山閣出版）

賀川光夫　宇佐（吉川弘文館）

與謝野寛等　大隈言道全集上・下巻（日本古典全集刊行会）

高田茂広　能古島物語（能古歴史研究会）

司書会編　加藤司書伝（司書会）

徳見光三　長州捕鯨考（長門地方史料研究会）

多田穂波　見島と鯨（見島と鯨編纂会）

森信夫編　香椎町誌（香椎町役場）

御薗生翁甫　大内氏史研究（山口県地方史学会大内氏史刊行会）

筑後川農業水利誌編纂委員会編　筑後川農業水利誌（九州農政局筑後川水系農業水利調査事務所）

芦屋町誌編集委員会編　芦屋町誌（芦屋町役場）

三松荘一編　仙厓和尚（福岡協和会）

福本誠　筑前誌（臨川書店）

仲摩照久編　日本地理風俗大系第12・13巻（新光社）

渡辺測量編　全国河川圖・九州（経済安定本部）

大淵傳次郎編　福岡博多市街地圖（駸々堂書店）

山本三生編　日本地理大系第9巻（改造社）

池内宏　元寇の新研究1・2（東洋文庫）

熊本県教育委員会編　塚原　熊本県文化財調査報告第

16集（熊本県文化財保護協会）2冊
橘昌信編　大分県九重町二日市洞穴の調査・第1～3次（大分県玖珠郡九重町教育委員会）
重松敏美　豊劦求菩提山修験文化攷（豊前市教育委員会）
豊津町教育委員会　幸木遺跡調査報告（豊津町教育委員会）
別府大学考古学研究室編　シシ権現洞穴遺跡調査報告（野津町の文化を育てる会）
村瀬時男編　博多二千年（以文社）
防府史談会　周防の国衙（以文社）
方城町史編纂委員会編　方城町史〔全〕・方城町史資料〔全〕（方城町）
三輪町教育委員会編　三輪町史（三輪町役場）
永留久恵　対馬の古跡（対馬郷土研究会）
鍋島直紹編　鍋島藩窯の研究（平安堂）
春山育次郎　平野國臣傳（平凡社）
福本誠　黒田如水（東亜堂書房）
日本分県地図53　地名総覧（人文社）

2　原　本　複　写　図　書

中山平次郎　九州の二銅鐸
博多石築地考
西区橋本柴田茂作家系図
小川寿一　宮崎安貞農業全書の書誌学的考察
梅原末治　銅鐸の研究

3　受　贈　交　換　図　書　(1978.4.1～1979.3.31)

〔福岡市〕
福岡市メッシュ統計―昭和50年事業所統計調査結果―
福岡の工業　昭和52年工業統計調査結果
〔福岡市教育委員会〕
史跡元寇防塁　保存管理計画策定報告書
福岡市西区四箇周辺遺跡調査報告書(2)　福岡市埋蔵文化財調査報告書第47集〔付別冊〕
席田遺跡群調査概報Ⅱ　第2次発掘調査　福岡市埋蔵文化財調査報告書第46集
明法寺榊文書
〔福岡県教育委員会〕
九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告　15冊（ⅩⅧ・ⅩⅨ・ⅩⅩ・ⅩⅩⅠ・ⅩⅩⅡ・ⅩⅩⅢ・ⅩⅩⅣ・ⅩⅩⅤ・ⅩⅩⅥ）
特別史跡太宰府跡環境整備事業実施報告書
特別史跡大野城跡環境整備事業実施報告書
筑前国分寺―昭和52年度発掘調査概要―
山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告　6冊（第5集・第6集・第7集）
昭和51・52年度山陽新幹線関係埋蔵文化財調査概報
〔福岡市美和台公民館〕
公民館活動を軸とする住民の意識と行動調査
〔福岡市民図書館〕
福岡市民図書館筑紫豊氏寄贈資料目録№1
〔福岡県文化会館〕
福岡県古文書等緊急調査報告（行橋市・京都郡）
〔福岡県文化財資料集刊行会〕
史蹟名勝天然記念物調査報告書第13輯　史蹟の部
福岡縣史蹟名勝天然記念物調査報告書第14輯　元寇史蹟（地之巻）
〔九州歴史資料館〕
太宰府史跡昭和52年度発掘調査概報
九州歴史資料館研究論集4
九州歴史資料館年報昭和52年度
甦る遠の朝廷　太宰府展　発掘10周年記念
太宰府古瓦拓影
〔歴史と自然をまもる会〕
ふるさとの自然と歴史　9冊〔83・84・87・88・90～94号〕
〔福岡部落史研究会〕
部落解放史・ふくおか　7冊〔6・8～13号〕
〔福岡考古懇話会〕
福岡考古懇話会々報　2冊〔第8・9号〕
〔博多を語る会〕
大正の博多記　第一・二部
〔福岡地方史談話会〕

福岡地方史談話会会報　12冊〔創刊号・7～9・11～18号〕
〔財団法人太宰府顕彰会〕
図録太宰府天満宮
〔福岡協和会〕
最新福岡市地図
〔九州大学附属図書館〕
九州大学附属図書館報「図書館情報」3冊〔通巻 110～112号〕
〔博多人形　増屋〕
博多人形のしおり
〔石橋財団　ブリヂストン美術館〕
ブリヂストン美術館・久留米石橋美術館館報
ブリヂストン美術館収蔵作品目録
〔久留米市教育委員会〕
筑後国分寺跡（Ⅰ）久留米市文化財調査報告書第18集
正福寺遺跡　福岡県久留米市国分町字日渡所在遺跡の調査
昭和52年度東部土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査概報　久留米市文化財調査報告書第19集
東諸富遺跡　久留米市文化財調査報告書第17集
〔飯塚市教育委員会〕
池田横穴群　飯塚市大字菰田東所在横穴群発掘調査報告
〔甘木市教育委員会〕
神蔵古墳　甘木市文化財調査報告第3集
〔甘木市史跡調査会〕
柿原野田遺跡
〔豊前市教育委員会〕
求菩提山　第三次の調査
〔大野城市教育委員会〕
中・西コモリ遺跡　大野城市文化財調査報告書第2集
〔方城町教育委員会〕
方城町文化財調査報告書　迫・野添石棺墓群，平原横穴墓，久留守出土キリシタン聖物
〔芦屋町教育委員会〕
山鹿城址の中世火葬墓
〔宮田町役場〕
宮田町誌　上巻
〔新吉富村教育委員会〕
中桑野遺跡　新吉富村文化財調査報告書第3集
〔香春町教育委員会〕
香春岳遺跡群調査概報第二次調査
〔岡垣町教育委員会〕
片山古墳群　岡垣町文化財調査報告書第3集
〔大任町教育委員会〕
狐塚古墳群Ⅱ　大任町文化財調査報告書第2集
〔津屋崎町教育委員会〕
奴山5号古墳
〔大平村教育委員会〕
上ノ熊古墳群　大平村文化財調査報告書第1集
〔那珂川町教育委員会〕
那珂川の地名考　前編
〔須恵町立歴史民俗資料館〕
須恵町の文化財1
〔北九州市立歴史博物館〕
北九州市立歴史博物館年報1　―昭和50・51年度―
〔北九州市立美術館〕
美術の森　北九州市立美術館ニュース17
〔北九州市教育委員会〕
大道遺跡　北九州市文化財調査報告書第25集
力丸遺跡　北九州市文化財調査報告書第26集
広寿山福聚寺所蔵品目録　北九州市文化財調査報告書第27集
貝島古墳群　北九州市文化財調査報告書第28集
〔佐賀県立博物館〕
古代のくらしのなかの器展―九州の弥生・古墳時代―
古唐津―肥前陶器の歴史と美を探る―
庚申堂塚調査報告書　佐賀県立博物館調査研究書第4集　2冊
佐賀県立博物館報　3冊（№39・№40・№42）
昭和52年度佐賀県立博物館年報№8
〔佐賀大学教育学部〕
研究論文集第26集Ⅰ・Ⅱ
〔大分市教育委員会〕
豊後国分寺跡　昭和51年度発掘調査概報
〔宇佐市教育委員会〕
宇佐地区圃場整備関係発掘調査概報
法鏡寺跡発掘調査概報2
〔臼杵市教育委員会〕

臼杵石仏群地域遺跡Ⅰ—昭和51年度発掘調査概報—
臼杵石仏群地域遺跡Ⅱ—昭和52年度発掘調査概報—
〔竹田市教育委員会〕
菅生台地と周辺の遺跡　大分県竹田地区土地改良事業関係遺跡群予備調査概要Ⅲ
菅生台地と周辺の遺跡　竹田市小園遺跡B地区発掘調査概報Ⅳ　2冊
〔大野町教育委員会〕
大野原台地の遺跡　大分県大野原地区土地改良事業関係遺跡群予備調査概要Ⅲ
〔日田市教育委員会〕
日田文化21
〔淡窓会〕
敬天第7号
〔大分県立芸術会館〕
昭和52年度大分県近世美術（書画）所在調査報告書
〔別府大学付属博物館〕
別府大学付属博物館記念特別展　日本の縄文土器展
別府大学付属博物館展示資料図録
〔別府大学博物館学課程〕
別府大学博物館研究報告№3
〔熊本県教育委員会〕
高橋南貝塚　熊本県文化財調査報告第28集
〔熊本県宇土市教育委員会〕
向野田古墳　宇土市埋蔵文化財調査報告書第2集
〔熊本県立美術館〕
熊本県立美術館年報　昭和51年度・昭和52年度
〔熊本県・谷頭遺跡調査団〕
谷頭遺跡1978
〔熊本大学法文学部考古学研究室〕
頭地下手遺跡　研究室活動報告1
桑鶴上橋遺跡　研究室活動報告2
高又遺跡　研究室活動報告3　2冊
タチバナ遺跡　研究活動報告4
〔九州電力KK熊本支店〕
中後迫遺跡調査報告
〔長崎県教育委員会〕
原の辻遺跡（Ⅲ）　長崎県壱岐郡所在の弥生遺跡
長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅰ　長崎県文化財調査報告書第35集　2冊
里田原遺跡　長崎県文化財調査報告書第38集　2冊
原の辻遺跡　長崎県文化財調査報告書第37集
〔長崎市教育委員会〕
曲崎古墳群調査報告書　2冊
〔長崎市立博物館〕
長崎市立博物館々報第8号
〔佐世保市教育委員会〕
三川内古窯跡群緊急確認調査報告　木原地蔵平窯跡の発掘調査
〔吾妻町教育委員会〕
杉山古墳調査報告書
〔厳原町教育委員会〕
宗家文庫史料目録（日記類）
〔対馬郷土研究会〕
対馬風土記第14号
〔長崎県立対馬歴史民俗資料館〕
長崎県立対馬歴史民俗資料館開館式典
長崎県立対馬歴史民俗資料館
対馬資料館報　創刊号
〔長崎県立美術博物館〕
長崎県立美術博物館だより№40
〔国見高等学校社研部〕
社研部報告第11号　西北九州における縄文後晩期埋葬域成立の意義を探る—特に筏遺跡を中心として—
〔鹿児島県総務部明治百年記念館建設調査室〕
鹿児島県明治百年記念館建設調査室だより　2冊
〔Vol7　№2，Vol7　№3〕
〔財団法人　鹿児島県育英財団〕
鹿児島の自然　海と陸地編　本でみる博物館第2集
〔那覇市教育委員会〕
那覇市の文化財
〔読谷村立歴史民俗資料館〕
読谷村立歴史民俗資料館報№3
〔山口県教育委員会〕
朝田墳墓群Ⅲ　山口県埋蔵文化財調査報告書第37集
大崎東谷1号墳　山口県埋蔵文化財調査報告第38集
追迫遺跡調査報告　山口県埋蔵文化財調査報告第39集
才谷古墳　山口県埋蔵文化財調査報告第40集
三太屋敷跡　山口県埋蔵文化財調査報告第41集
坂手沖尻遺跡・惣の尻遺跡　山口県埋蔵文化財調査報

告第42集
下右田遺跡　山口県埋蔵文化財調査報告第43集
萩焼古窯２　山口県埋蔵文化財調査報告第44集
〔防府市教育委員会〕
周防国衙―南限地域―の調査
周防国府―北限地域―　発掘調査報告書
防府の文化財
〔阿知須町教育委員会〕
引野遺跡・丸塚古墳　山口県吉敷郡阿知須町引野遺跡・丸塚古墳第二次発掘調査報告
〔下関市教育委員会〕
長門国府　長門国府周辺遺跡調査報告
〔山口県文書館〕
山口県文書館研究紀要第５号
山口県文書館地方調査員調査報告５　山口県内所在史料目録第５集
〔下関市立大学〕
下関商経論集第21巻第３号
下関市立大学論集第22巻第１号
〔東行庵〕
東行庵だより　４冊（№２～５）
〔広島県教育委員会〕
神辺御領遺跡第２次発掘調査概報
大宮遺跡第１次発掘調査概報
〔広島市公文書館〕
広島市公文書館紀要第１号
〔広島県草戸千軒町遺跡調査事務所〕
草戸千軒町遺跡―第18～20次発掘調査概要―
草戸千軒―掘り出された中世の町―
〔広島県草戸千軒町遺跡調査研究所〕
草戸千軒　３冊〔№66～88〕
〔広島大学文学部帝釈峡遺跡群発掘調査室〕
広島大学文学部帝釈峡遺跡群発掘調査室年報Ⅰ
〔岡山県立博物館〕
研究報告１
〔津山洋学資料館〕
久原躬弦書簡集　津山洋学資料第３集
目で見る津山の洋学　津山洋学資料第４集
〔市立津山郷土館〕
津山における心学史料（上）　津山郷土館報第11集
〔島根県立八雲立つ風土記の丘資料館〕
八雲立つ風土記の丘　４冊（№28・29合併号，31～33）
78特別展「古代の石見」展示図録
〔松江考古学談話会〕
松江考古　昭和52年のあゆみ　創刊号
〔兵庫県立西播文化会館〕
清流　兵庫県立西播文化会館広報　２冊（第６・７号）
〔香川県教育委員会〕
瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財予備調査報告（Ⅱ）
瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（Ⅰ）与島西方遺跡
〔瀬戸内海歴史民俗資料館〕
考古資料収蔵目録Ⅰ　縄文時代編　図版解説付
瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具と習俗
瀬戸内海歴史民俗資料館だより第７号
〔松山市教育委員会〕
松山のむかし話　民話
〔城川町教育委員会〕
中津川洞　第Ⅲ次発掘調査概報
〔徳島県博物館〕
昭和53年度要覧
〔高知県立郷土文化会館〕
吾川郡春野町資料調査報告書
〔大阪市立博物館〕
特別展　水底の謎をさぐる　水中考古学
大阪市立博物館報№17
〔大阪城天守閣特別事業委員会〕
お化けの浮世絵展　南木コレクションシリーズ№４
特別展覧会　桃山の武器武具　夏の陣図屏風の世界
〔大阪城天守閣〕
大阪城天守閣所蔵資料目録　大阪城天守閣紀要別冊
大阪城天守閣所蔵資料目録（続）昭和42.４.１～昭和48.３.31
特別展　秀吉と豪商
大阪城天守閣紀要第６号
〔高槻市教育委員会〕
高槻市文化財調査報告書第11冊　郡家今城遺跡発掘調査報告書（Ⅰ・Ⅱ）２冊
〔車塚古墳調査会〕
昼神車塚古墳発掘調査概要（現地説明会資料）

〔京都府立総合資料館〕
資料館紀要第6号
〔京都国立博物館〕
特別展覧会　日本の黎明　考古資料にみる日本文化の東と西
〔財団法人　古代学協会〕
平安京跡研究調査報告第4輯　西賀茂瓦窯跡
〔財団法人　京都市埋蔵文化財研究所〕
長岡京跡発掘調査報告　京都市埋蔵文化財研究所調査報告Ⅱ
常盤沖ノ町集落跡発掘調査報告　京都市埋蔵文化財研究所調査報告Ⅲ
平安京跡発掘調査概報　京都市埋蔵文化財研究所概報集1978―Ⅱ
〔鳥羽離宮跡調査研究所〕
史跡西寺跡
〔京都大学埋蔵文化財研究センター〕
京都大学構内遺跡調査研究年報　昭和52年度
京都大学埋蔵文化財調査報告第1冊―京大農学部遺跡ＢＧ36区―
〔同志社大学学術調査委員会〕
同志社大学校地学術調査委員会調査資料　2冊(№12・13)
同志社キャンパス内出土の遺構と遺物　同志社校地内埋蔵文化財調査報告資料編Ⅱ
〔同志社大学博物館学芸員課程〕
同志社大学博物館学年報第10号
〔京都科学標本株式会社〕
京都科学標本株式会社30年のあゆみ
〔滋賀県教育委員会〕
湖西道路関係遺跡調査概要
矢橋沖浄化センター建設に伴う発掘調査報告
北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書Ⅳ
久野部遺跡発掘調査報告書―七ノ坪地区―
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書　2冊（Ⅳ―Ⅰ・Ⅳ―Ⅱ）
〔草津市教育委員会〕
草津市文化財調査報告書2　花摘寺跡発掘調査報告Ⅰ
〔静岡市立登呂博物館〕
特別展　茶　生活の中の道具
〔浜松市教育委員会〕
伊場遺跡遺物編1　別冊図版
国鉄浜松工場内遺跡発掘調査概報Ⅲ
〔沼津市教育委員会〕
藤井原遺跡発掘調査報告書Ⅰ　遺構編　沼津市文化財調査報告第13集
〔沼津市歴史民俗資料館〕
沼津市歴史資料館紀要2
〔奈良国立文化財研究所〕
飛鳥藤原宮発掘調査報告Ⅱ
平城宮発掘調査報告Ⅶ
奈良国立文化財研究所年報1978
埋蔵文化財ニュース17　2冊
〔奈良県立橿原考古学研究所附属考古博物館〕
大和考古資料目録6
〔千塚資料館〕
新沢千塚の遺宝　橿原市千塚資料館開館記念
〔和歌山県教育委員会〕
紀の川用水建設事業に伴なう発掘調査報告書
那賀郡岩出町根来寺坊院跡発掘調査概報Ⅰ
西庄地区遺跡発掘調査概報Ⅰ
〔和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所〕
紀伊風土記の丘年報第5号
〔天音山・道成寺〕
道成寺発掘調査報告1
〔名古屋市教育委員会〕
名古屋市蓬左文庫國書分類目録
名古屋市蓬左文庫古文書古繪圖目録
〔名古屋市博物館〕
名古屋市博物館常設展示概要　歴史への招待
名古屋市博物館研究紀要第1巻　昭和52年度
名古屋市博物館だより第6号
名古屋市博物館年報№1
〔豊田市郷土資料館〕
豊田市郷土資料館収蔵品図録Ⅰ　豊田市郷土資料館報告13
豊田市埋蔵文化財調査集報第5集　豊田市郷土資料館報告14
高橋遺跡第8次発掘調査概報　豊田市郷土資料館報告15

〔南山大学人類学研究所〕
人類学研究所紀要　2冊（第7・8号）
〔茅野市教育委員会〕
よせの台遺跡―埋蔵文化財緊急発掘調査報告書―
〔富士見町教育委員会〕
曽利　第三・四・五次発掘調査報告書
〔鎌倉市教育委員会〕
鎌倉地方造像関係資料―第8集補遺編(3)―　鎌倉国宝館論集
〔川崎市教育委員会〕
川崎市多摩区黒川東遺跡発掘調査概報
川崎市多摩区潮見台遺跡B地点発掘調査報告書
〔川崎市地質調査研究所〕
多摩丘陵・柿生泥岩層の模式地「柿生M点」の地層と貝化石
〔横須賀市博物館〕
横須賀市博物館館報№24
横須賀市博物館資料集　2冊（第1・2号）
横須賀市博物館研究報告（人文科学）2冊（第21・22号）
〔根岸競馬記念公苑〕
絵画にみる鎌倉武将と馬展
〔財団法人　馬事文化財団〕
競馬記念館（根岸競馬記念公苑）
〔埼玉県教育委員会〕
稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘概報
〔埼玉県立さきたま資料館〕
資料館報№9
〔浦和市立郷土博物館〕
浦和市立郷土博物館研究調査報告書第5集
浦和市立郷土博物館館報　2冊（第11・12号）
特別展　鳳翔閣百年
〔埼玉新聞社出版局〕
稲荷山古墳―鉄剣が秘めた古代の謎―
〔群馬県立博物館〕
群馬の小正月ツクリモノ　群馬県立博物館研究報告第12・13集
群馬県立博物館報　2冊（21号，昭和53年度臨時号）
群馬県地域における弥生時代資料の集成Ⅰ　群馬県立博物館研究報告第14集
〔千葉県立房総風土記の丘〕
千葉県立房総風土記の丘年報2
〔千葉市教育委員会〕
78千葉市の社会教育
〔五島美術館〕
日本の陶硯
〔東京都教育委員会〕
都内横穴墓緊急調査集録　東京都埋蔵文化財調査報告第5集
〔町田市立博物館〕
江戸小袖展
〔東京国立博物館〕
日本出土の中国陶磁
〔宮内庁書陵部〕
書陵部紀要第29号
〔武蔵岡遺跡調査会〕
東京都町田市武蔵岡遺跡―1977年度調査―
〔古文化財科学研究会〕
古文化財の科学　2冊（第22・23号）
〔憲政記念館〕
憲政史特別展　第2回展示目録
〔文化庁〕
国立歴史民俗博物館　1978
〔なすな原近隣遺跡調査会〕
なすな原近隣遺跡調査報告書　1978
〔上総国分寺台発掘調査団〕
祇園原貝塚　上総国分寺台発掘調査概要Ⅴ
〔宮城県教育委員会〕
宮城県文化財発掘調査略報（昭和52年度分）宮城県文化財調査報告書第53集
〔仙台市博物館〕
仙台市博物館年報第5号　昭和52年度
仙台市博物館だより№27
〔東北歴史資料館〕
東北歴史資料館研究紀要第4巻
年報　昭和52年度
ろばたとくらし　館報第10号
多賀城と関連遺跡
〔南方町教育委員会〕
長者原貝塚　南方町文化財調査報告書第1集

〔秋田県立博物館〕
博物館利用の手引き
生徒と先生のための博物館学習
秋田県立博物館研究報告第3号
武藤一郎コレクション図録
天野源一コレクション図録—考古図録第4集—
秋田県立博物館博物館ニュース№4
〔山形県教育委員会〕
山形県高畠町大立洞穴　第三次調査概報
〔新潟県教育委員会〕
国道 116号線埋蔵文化財発掘調査報告書　新潟県埋蔵文化財調査報告書第14集
長岡ニュータウン遺跡調査報告書Ⅱ　新潟県埋蔵文化財調査報告書第13集
〔石川県立郷土資料館〕
郷土資料館だより第30号
〔旭川市立旭川郷土博物館〕
市立旭川郷土博物館所蔵品目録Ⅵ
アイヌ文化の森“伝承のコタン”年報Ⅱ
市立旭川郷土博物館月報（Vol 9 №1～Vol 13№8）
市立旭川郷土博物館研究報告第12号
市立旭川郷土博物館だより№35・№36
〔法政考古学会〕
法政考古学第1集
〔青山学院大学文学部史学研究室〕
青山史学第5号
〔国学院大学考古学資料館〕
国学院大学考古学資料館要覧　1975　陶磁器
国学院大学考古学資料館要覧　1976　関東の古墳時代文化
〔日本大学史学会〕
史叢　2冊（第21・22号）
〔駒沢大学考古学研究室〕
東京・上之台遺跡　先史11
〔財団法人　観光資源保護財団〕
日本ナショナルトラスト報　第109・110号
〔国際電信電話KK〕
21世紀への展望—国際通信未来像—
〔明治図書出版〕
人権—差別からの解放—　双書部落解放1
〔筑摩書房〕
明治大正図誌15　九州
〔講談社〕
日本原始美術大系　2冊（第2・5巻）
〔文献出版〕
筑前國續風土記附録（下巻）
博多と仙厓
西南地域史研究第2輯　特集—薩摩藩の諸問題
〔平凡社〕
北条時宗　日本を創った人びと9
太陽　78.7月号
〔繭山龍泉堂〕
龍泉集芳　2冊（Ⅰ・Ⅱ）
〔毎日新聞社〕
倭国の大乱　日本史の謎と発見2
〔忠敬堂〕
忠敬堂郷土史料集第1輯
〔INTERNATIONAL EXHIBITIONS FOUNDATION〕
FOLK TRADITIONS IN JAPANESE ART
〔在日本朝鮮人科学者協会〕
朝鮮学術通報（Vol. XV№1～Vol. XV№6）
〔東亜大學校博物館〕
泗川禮樹里古墳群発掘調査報告書
〔中華人民共和国故宮博物館〕
故宮博物館
〔原田徳彦氏〕
大蔵姓原田氏系譜　稿　大蔵姓原田氏史料附録
〔母里嘉久氏・徳永安喜氏〕
徳永庸随想録　励—その足跡—
〔牛尾準一氏〕
細川家縁起録

昭 和 53 年 度 予 算

歳　入　　（単位千円）

歴史資料館使用料	250	福岡市立歴史資料館条例に基づく特別展観覧料
物品売払収入	190	特設展開催に伴う図録売払収入
雑　入	3	私用電話通話料
計	443	

歳　出

費目／事項別	管理費		事業費	
報酬	435	資料館協議会委員		
賃金			2,286	複製品・パネル原図作製・資料分類整理作業補助，資料実測作業補助，資料復元補強原図作成作業補助，特設展ポスター・図録発送，売札，場内監視，資料展示陳列及び撤去
報償費			3,005	資料寄贈謝礼，資料複製・パネル製作指導原稿，鑑定評価委員・歴史資料調査委員謝礼
旅費				
費用弁償	158	資料館協議会委員，日本博物館大会参加		
普通	156	日本博物館大会，博物館研修会	421	資料借上・寄贈・寄託交渉，複製品の検分，資料運搬，各地博物館調査
印刷消耗品費	507	ＰＲ用刊行物，一般事務用品新聞雑誌，消毒用薬品，電球螢光管，スライド用ランプ，施設管理用消耗品，薬品	4,057	パンフレット，ＤＰＥ，こん包材料，特設展招待券，入場券，ポスター，文具類展示品図録，フイルム，年報，研究報告図録
光熱水費	2,671	電気，ガス，水道，燃料		
食糧費	87	歴史資料館協議会，来客用，展示資料借用交渉	56	複製品・パネル製作指導会議用，歴史資料調査委員会議用
修繕料	430	展示ケースガラス，電気配線照明灯，借用資料等修理		
役務費	960	電話料，郵便料，火災・対人・対物保険料	220	案内状・パンフレット・年報・図録・研究報告発送用，各種連絡用切手
委託料	14,169	空調保守，警備，受付，清掃電気，電話機，冷暖房保守，非常通報機保守，消防設備保守，鳩害防除等	7,080	複製品・パネル・題せん・展示用具製作ポスター・入場券等デザイン，看板製作資料復元補強，古文書等裏打ち表装，スライド製作
自動車借上料			451	展示・寄託・調査資料・購入資料運搬用
借損料	190	資料館協議会会場借上，植木鉢借上	330	展示資料借上，会議場借上
工事請負費	420	館案内板設置，雨水桝設置及び排水管布設工事		
備品購入費	55	図書	6,132	収蔵棚，資料保存収蔵箱，図書，製図器文化財購入，スライド映写装置
負担金補助及び交付金	64	日本博物館協会，九州博物館協議会，歴史資料保存利用機関連絡協議会，日本博物館協会特別臨時負担金		
計	20,302		24,038	44,340

福岡市立歴史資料館条例 (昭和47年10月23日 条例第74号)

(設置)

第1条 福岡市及びその周辺の歴史に関する資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り，もって市民文化の向上に資するため，福岡市立歴史資料館(以下「資料館」という。)を福岡市中央区天神一丁目に設置する。

(事業)

第2条 資料館は，次の各号に掲げる事業を行なう。

(1) 資料の収集，整理及び保存に関すること。

(2) 資料を市民に展示し，公開すること。

(3) 資料の専門的調査研究を行なうこと。

(4) 前各号に掲げるもののほか，資料館の設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 資料館に館長その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第4条 資料館に展示した資料の観覧料は，徴収しない。

2 前項の規定にかかわらず，資料館に特別の展示をしたときは，教育委員会は，その実費相当額の範囲において観覧料を徴収することができる。

(入館の制限)

第5条 教育委員会は，次のいずれかに該当する者に対し入館を拒み，又は退去を命ずることができる。

(1) 資料館の管理上必要な指示又は指導に従わないもの

(2) 資料館の管理上支障があると認められるもの

(資料の貸出し)

第6条 教育，学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のために特に資料を利用しようとする者は，教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは，資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行なうものとする。

(損害賠償)

第7条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者がその責に帰すべき理由により資料館の建物若しくは施設又は資料を破損し，滅失し，又は汚損して本市に損害を与えたときは，これらを原状に復し，又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第8条 資料館に福岡市立歴史資料館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は，資料館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに，館長に意見を述べるものとする。

3 協議会の委員の定数は，20人以内とし，次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者

(2) 学識経験者

4 前項の委員の任期は，2年とする。ただし，補欠委員の任期は，前任者の残任期間とする。

5 委員は，再任されることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか，資料館の管理に関し必要な事項は，教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は，昭和47年11月16日から施行する。

福岡市立歴史資料館条例施行規則 (昭和47年11月16日 教育委員会規則第14号) 改正昭和50.一教規則25. 昭和53.一教規則13

(趣旨)

第1条 この規則は，福岡市立歴史資料館条例(昭和47年福岡市条例第74号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市立歴史資料館(以下「資料館」という。)の事務を行なうため，資料館に管理係を置く。

(職員)

第3条 資料館に館長，係長，吏員その他の職員を置く。

2　前項の職員のほか，特定事務を担当させるため，資料館に文化財主事を置くことが出来る。

3　館長，係長及び文化財主事は吏員のうちから命ずる。

4　館長及び係長は，上司の命を受けて資料館又は係の事務を掌理し，所属職員を指揮監督する。

5　文化財主事は，上司の命を受けて担当事務を処理する。

6　吏員その他の職員は，上司の命を受けて分担する事務を処理する。

（職務権限の代行）

第4条　館長に事故ある場合又は館長が欠けた場合において，特に事務取扱者を命じないときは，係長がその係に属する事務について館長の職務権限を代行して行なう。ただし，重要又は異例な事務については，文化部長の指揮を受けなければならない。

2　前項の規定により館長の職務権限を代理して行なう者がないときは，文化部長が行なう。

（開館時間）

第5条　資料館の開館時間は，午前9時から午後5時までとする。ただし，教育長は，必要があると認める場合には，これを変更することができる。

（休館日）

第6条　資料館の休館日は，次のとおりとする。ただし，教育長は必要と認める場合には，これを変更し，又は臨時に休館することができる。

(1)　毎週月曜日

(2)　12月28日から翌年1月3日まで

（入館者の心得）

第7条　資料館に入館する者は，次の事項を守らなければならない。

(1)　所定の場所以外の場所で飲食し，喫煙し又は火気を使用しないこと。

(2)　騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(3)　危険物又は動物を持ち込まないこと。

(4)　職員が行なう管理上必要な指示又は指導に従うこと。

（貸出）

第8条　条例第6条第1項の規定による資料の貸出を受けようとする者は，福岡市立歴史資料館資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育長に提出しなければならない。

2　条例第6条第1項の規定による資料の貸出の許可は，資料貸出許可書（様式第2号）を交付して行なう。

（寄贈等）

第9条　資料館に資料を寄贈し又は寄託しようとする者は，教育委員会に申し出なければならない。

2　寄託を受けた資料の貸出しは，寄託者の承認を得て行なうものとする。

（委　任）

第10条　この規則の施行に関し，必要な事項は，教育長が定める。

附　則

この規則は，公布の日から施行する。

附　則（昭和50年7月24日教規則第25号）

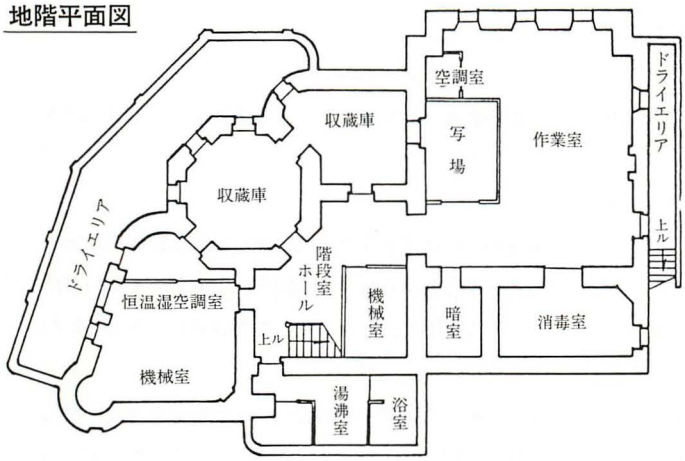
この規則は，公布の日から施行する。

附　則（昭和53年4月1日教規則第13号）

この規則は，公布の日から施行する。

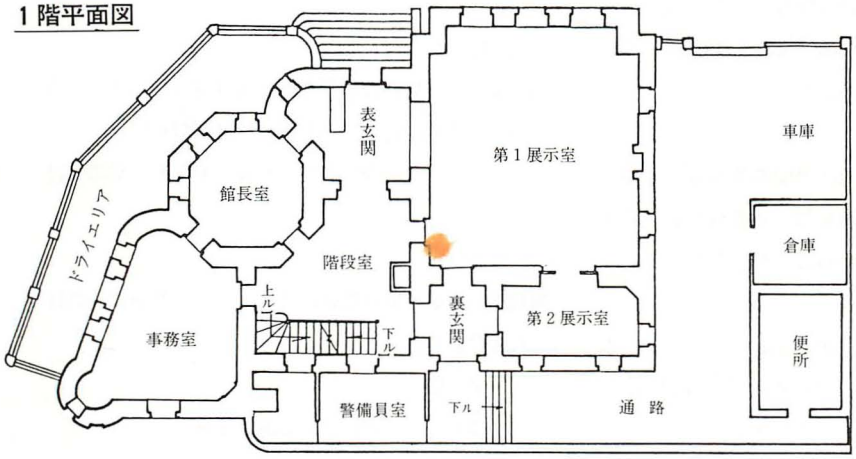
資料館平面図

地階平面図



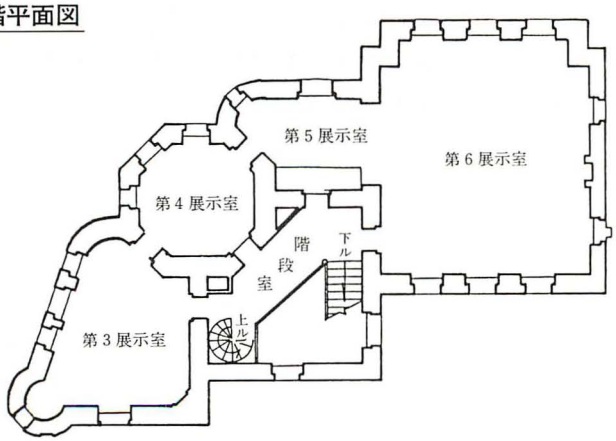
面積	
地階	218.8m²
1階	212.9m²
2階	171.6m²
3階	25.5m²
倉庫	11.6m²
便所	14.5m²
図書室	16.6m²

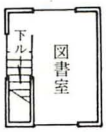
1階平面図



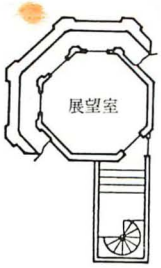
展示室	
第1展示室	78.3m²
第2展示室	15.7m²
第3展示室	31.7m²
第4展示室	19.2m²
第5展示室	19.5m²
第6展示室	67.9m²
収蔵庫面績	36.7m²

2階平面図





3階平面図



FUKUOKA CITY MUSEUM OF HISTORICAL MATERIALS

Annual report No. 7

1979

●入場料　無料
●休館日　月曜
12月28日～31日
1月1日～3日
●開館時間　午前9時～5時（入館4時30分）
●場所　福岡市中央区天神1丁目15番30号
TEL 741－5488

福岡市立歴史資料館年報
No. 7
（昭和53年度）
昭和54年（一九七九）6月1日発行
福岡市立歴史資料館
印刷　㈱川島弘文社